

家畜の呼吸器系疾病や発情兆候を音で検知するプラットフォーム「FAST-D」



概要

- 畜産現場において、家畜の罹患・殺処分や出荷の遅れによる損失の課題に対応することを目指し、音のAI解析による家畜管理、行動観察システムを開発。
- 本システムは、音を機械学習し、疾病音や発情音を検知するものである。
- 集音ができれば特別な機器等は必要なく、また検知も簡易な装置で実装可能。低コストで課題解決に貢献。
- データは弊社クラウドサーバーにて管理し、畜産現場ではスマートフォン等のデバイスにて管理やデータの確認が可能になる予定。
- 現在豚舎にて「豚の呼吸器系疾病の兆しの検知」及び「発情兆候の検知」を実証実験中。将来的に肉用牛、酪農、養鶏にも展開予定。
- 現在実証試験中であり、2021年4月頃に一般販売を予定。

導入効果

- 本システムの導入により、熟練者による属人的な業務のAIによる平準化が実現可能。
- また、クラウドサーバー上に音をアップロードし、都度機械学習をすることにより検知精度が向上。
- 本システムにより家畜の管理を行うことにより、トータルで生産性の向上に寄与し収益の向上が可能。

○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当するニーズ

項目	家畜管理等
技術ニーズ	家畜管理 行動観察
具体的なニーズの内容	音声により行動把握や体調管理を行う技術

○開発等の段階

開発/実証中	○
モニター販売中	
一般販売中	
その他	

☞連絡先

Hmcomm株式会社 営業部 工藤
 TEL:080-4887-5319
<https://hmcom.co.jp/>
Kenta.kudo@hmcomm.co.jp

お問い合わせフォーム

情報記載日:2019年11月29日

豚舎の罹患区画を特定

